

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	EGG		公表日			R8年 3月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		幼児であるため事故や怪我防止の為、職員が子ども達の手が届く距離に意識しています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		一番多い日で幼児が6名の時は通常2名の職員と+1名の追加配置をおこなっています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		玄関は2段ほどの段差があり手すりを設置しています 車椅子はスロープで対応しています 住居階段は手すりが設置してあり階段用の滑り止め絨毯を敷いています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃と必要に応じた消毒を行なっています 必要な玩具は子ども達の手が届く様に設置し片付けの練習なども行えるように配置しています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		状況に応じて1階支援室や事務所を使用できるようにしています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員会議やインシデント発生時に検討し見直しています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		出来る事から改善していきます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎朝のミーティングや月のスタッフミーティングなどで意見交換を行ったり、その都度必要に応じて話し合う機会を設け、業務の改善に努めています	パート職員への伝達が課題であるため今年度からはパート職員もミーティングに参加
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	実施出来ていませんが、今後検討していく予定です	第三者の外部評価の検討
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		今年度よりeラーニングを導入し研修の内容も充実させ時間の効率化を図っていきます	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページに公表しています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		契約時や半年ごとのモニタリング、それ以外でも保護者から相談があれば、その都度アセスメントや課題の分析などをおこない計画を作成しています	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		月のケアミーティングでそれぞれの担当職員が現状と問題や課題についての報告後、職員間で検討を行なう事で支援の統一化や共通認識を図っています	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援計画を共有後、各担当職員が個別支援計画を作成し、より細やかな支援を行なっています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の記録から行動観察などを行ない適正行動を把握していきます 療育センターなどのアセスメントを参考にインフォーマルなアセスメントをおこなっています	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		アセスメントを基に必要な項目や支援内容を設定し、個別支援計画に記載しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		スタッフミーティングで意見交換しながら立案しています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		「個別支援」に力を入れ、それぞれの特性に応じて支援内容を考えています 「集団活動」では季節やその時の状況に応じて臨機応変に活動内容を工夫しています	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		利用する時間帯の中で個別活動と集団活動を行っており、支援内容も計画に反映させています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝のミーティングで本日の予定・利用者・送迎確認・それぞれの子ども達の支援内容と担当者、使用する部屋を伝え、スタッフ全員の動きを確認しています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎時間での時差があるため、次の日のミーティングで確認と共有を行なっています 必須事項は業務LINEで報告を行なっています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		連絡帳や日々の記録を活用し、毎日のミーティングや月のケアミーティング後検証・改善を行なっています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		契約時と半年ごとのモニタリングで家族と話し合いながら継続や見直しの必要性を判断しています	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		状況に応じて適任者が参加しています	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		相談支援員・幼稚園・保育園等の関係機関と連携して支援を行なっています	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者には併用での利用を促すことや関係機関とは定期的に情報共有を行い相談支援員にも担当者会議の開催を積極的に提案しています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		対象児がいれば、積極的に図っていきます	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		必要時は積極的に連携を図り助言や研修会等にも参加していきます	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		公園や小学校、市民センターなどを利用し地域の子ども達とふれあう機会を設けています	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		LINE・インスタ・HP等を活用し、活動の様子を伝えたりモニタリングや個別での相談等で共通理解を図っています	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニング等は出来ていませんが家族が参加出来るような研修案内や相談できる場所などの情報提供は行なっています	家族支援プログラムの検討
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行なっています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	まる		見学時の面談・契約時・モニタリング等で確認をしています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		契約時・半年ごとのモニタリングで家族に説明し、同意を得ています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時行なっています 送迎時やLINE、電話などで相談を受け、要望があれば面談での相談対応も行なっています	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	保護者会等の開催は出来ていませんが今後検討していきます	保護者の交流の場の検討
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	管理者・児童発達支援管理責任者を窓口にして苦情や意見に対して迅速な対応を心がけています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	月初めに「EGGだより」を発行し、LINEを使って保護者に送っています 日々の活動の様子等はHPやSNSを活用し、情報発信しています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人ファイルは鍵付きの書庫に保管しています 契約時に個人情報・肖像権の使用同意書を記入してもらいスタッフで共有しています	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	子どもに合わせて必要な方法を取り入れ、保護者に対しても丁寧に分かりやすい伝え方を心がけています	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	行事の際のご協力を依頼したり、自治会に加入して地域の方に受け入れてもらっています	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	契約時にマニュアルがあることは説明しています	訓練等はSNS等を活用し活動の様子を伝えていく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	マニュアルの策定は行っており、防災の年間計画の中に反映させ訓練を行なっています	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	契約時に基本情報シートの記入と聞き取りを行ない状況を把握しています。日々の様子は連絡帳等を確認しながら支援を行なっています	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	基本情報シートの記入と家族からの聞き取りで医師の指示書の内容を把握し、対応しています	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	チェックリストを活用し安全管理を行なっています	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	家族への周知が不十分であるため今後は周知出来る様に説明等を行なっていきます	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	スタッフミーティングで事例を取り上げ、検討し、改善に向けた取り組みを行なっています	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待・拘束研修を行ない適切な対応等を学んでいます		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	現在、対象児はいませんが、本人や保護者に十分に説明を行ない、了承を得た上で対応していきます		